

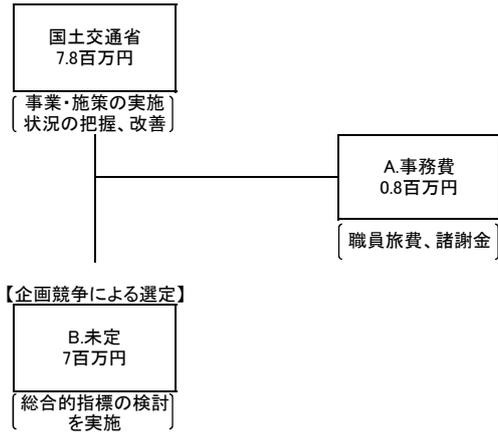
平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	社会資本整備重点計画フォローアップ経費		担当部局庁	総合政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	参事官(社会資本整備)		参事官(社会資本整備) 中原 淳		
会計区分	一般会計		政策・施策名	9 市場環境の整備、産業の生産性向上、消費者利益の保護 30 社会資本整備・管理等を効果的に推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	社会資本整備重点計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	社会資本整備重点計画法に基づき、社会資本整備事業を重点的、効果的かつ効率的に推進するために策定している第3次社会資本整備重点計画について、計画の実効性を検証する手法を検討し、フォローアップに活用するとともに、検証結果を次期重点計画の策定に反映させることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	重点計画では事業・施策別に指標を設定しているが、横断的な政策目標を掲げた重点目標全体の達成状況を把握するためには、分野横断的な評価手法を確立する必要がある。本事業では、それに活用可能な定量的指標の検討を行う他、目標の達成状況を定量的に評価できないものについては、関係者からの意見聴取等を行うことで目標の達成状況等を把握する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算				8		
		繰越し等						
		計				8		
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値(25年度)
	定量化等を用いたフォローアップにより着実に進捗している事業・施策の数				—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	重点目標の達成状況を把握可能な定量化値				—	—	—	—
				(—)	(—)	(—)	(—)	
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.2百万円	—					
	職員旅費	0.6百万円	—					
	社会資本整備・管理効率化推進調査費	7.0百万円	—					
計	7.8百万円	—						

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	我が国の社会資本整備を効率的かつ効果的に行うための計画に係る施策であり、公益性、及び政策的な優先度の高さに鑑みて、国が行う必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		—			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	社会資本整備重点計画は、我が国の社会資本整備を効率的かつ効果的に行うための計画であり、そのフォローアップも極めて公益性、政策的な優先度が高い取組と言える。加えて、第3次計画のフォローアップのみならず第4次重点計画への反映を行うという観点からも、国において検討を実施する必要がある。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業終了のため事業廃止とするが、本事業で把握する現状や課題を第4次重点計画の策定にあたって効果的に活用すべき。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
本事業で把握する現状や課題を踏まえ、次期計画の策定に向けた議論を社会資本整備審議会計画部会において行うことにより、第4次重点計画の策定に本事業の成果が活用され则认为される。						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	—	平成24年	—

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

(新規事業につき、下図はイメージ)



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-